

スーパー署名について

久保田誠司

★スーパー署名活動のきっかけ

東京、大阪での活動を聞いており、近所の静鉄ストア千代田店にて一人で署名活動をしていました。20分くらい、10筆くらい頂いたところで、店長さんが出てきました。「本部の許可をもらっているのか」許可を貰わずにやっていたことを詫び、許可を得たいということで本部の電話番号をお聞きしました。本部に電話すると総務課のNさんという方が対応してくれ、その後もこの方が窓口になってくれました。

静鉄ストアという性格から脱原発運動だと思われては許可がでないと考えましたので、「賛成の方も反対の方も、住民が意思を表示したい」ということを強調しお願いしましたところ、後日連絡するからと言ってくれました。2日後くらいにNさんから連絡があり、「ホームページを見てもおっしゃっていたように賛成の人も反対の人もというようであり、一応許可することになりました」とのことでした。

ただ、勝手にやってもらっても困るし、買い物の邪魔になっても困るので、2人くらいで、いつどこでやるのか、あらかじめお知らせしてほしい。そうすると本部からもその店に連絡しておくからということでした。

その後折り返しミーティングにおいて、スーパー署名隊を募集し、鈴木代表といっしょに静鉄本部に挨拶もしてきました。こうした流れから、スーパー署名活動の中部の統括的なことを自分がやるようになりました。

その後、どなたかのお働きで生協でも静鉄以上に協力的に署名活動ができるようになりました。

スーパー署名のいいところは署名率が高いということです。例えば、青葉公園で署名活動をするとうるさい反応が「無視」です。都会的で人が流れていますのでそれは無理がないところです。スーパーでは無視はほとんどされません。何らかの反応をしてくれます。そこで相手にこちらの趣旨が伝わればほとんどの方は署名してくれます。以下にメルマガに掲載いただいたスーパー署名のポイントを記します。

★メルマガの原稿より

〈スーパー署名活動でたくさんの方に署名機会を提供しよう!〉

まず、署名を頂こうとする相手に対して、署名機会の提供を申し出ます。

その声掛けですが、私は画板のポスターを見せながら挨拶し、

「署名活動をしているのですが、良かったらご協力いただけないですか」というような感じで話しかけます。そうすると

①すぐ署名してくれる

②何の署名？

③「忙しい」「署名はしない」

というような返答がすぐ返ってきます。

①は早いです。

②のほとんどの方は説明の後、署名してくれます。

③については笑顔であつさり引き下がります。そうすると中には「何の署名」と聞いてこられる方もいます。

このようにしていると回転が速く、たくさんの方に署名機会を提供できます。

★声掛けのポイント

広く呼びかける感じで話すと、ほとんどの方は自分のことではないと通り過ぎてしまいます。そうではなく、道を尋ねるくらいのトーンで相手の顔を見ながら話しかけます。(道を聞かれて無視する人はほとんどいません)

はっきりと「あなたに話しかけている」ということが分かるようにすることが大事です。そのために子連れの女性には「お母さん」、男性には「ご主人」、その他「お兄さん」「お姉さん」などと呼びかけることも有効です。

最後にこれもメルマガに掲載いただいたものですが、署名活動の中では冷たい反応もあります。そこで負けないような自分なりの根拠みたいなものがありました。それは原発県民投票の実現は圧倒的多数の市民の願いであり、この趣旨がちゃんと伝わればみんな署名してくれるという確信です。

〈原発県民投票の実現は圧倒的多数の市民の願い〉

残り一週間となりました。残念ながら、大変危機感のある状況で最終盤に突入しました。しかし、この運動は本来必ず成功する運動です。署名開始前のシール投票を思い出して下さい。

「浜岡原発の再稼働の是非 誰が決めるべきか? 政治家 専門家 市民」

毎回、圧倒的多数の9割以上の皆さんが「市民」を選択しました。

この運動は圧倒的多数の市民の願いを実現する運動です。そのために市民の皆さんにやっていただくことは、一分でできる簡単なこと～署名用紙にサイン、捺印(拇印)していただくこと。

私たち受任者は、できるだけたくさんの県民に署名機会を提供することが求められています。

「県民投票実現のための署名機会がここにあるよ」、とちゃんと伝えられればほとんどの方が署名してくれます。みんなの力が合わされば、大きなことができます。

二度とない残りの数日、全力でがんばりましょう!